

2月23日(木)小田急線主要13駅に AED(自動体外式除細動器)を設置します

小田急電鉄株式会社(本社:東京都新宿区 社長:大須賀 頼彦)では、2006年2月23日(木)に当社線の通勤・観光両需要における主要13駅にAED(自動体外式除細動器)を設置いたします。

「AED」とはAutomated External Defibrillator(以下AED)の略であり、心臓の心室が小刻みに震えることにより脳や体に血液を送り出すことができなくなる心室細動の状態のとき心臓に電気的刺激を与えることにより、正しい状態に取り戻させるものです。

現在では空港、ホテル、大規模イベント会場や公共施設などへの設置が進められており、当社では町田駅、小田原駅、藤沢駅など主要13駅に各1台設置します。

これにより、既に設置済みである新宿駅とあわせると合計14駅(14台)となります。

「AED(自動体外式除細動器)設置」の概要は下記のとおりです。

記

1. 設置日 2006年2月23日(木)
2. 設置駅 代々木上原駅・下北沢駅・成城学園前駅・登戸駅・新百合ヶ丘駅・町田駅
相模大野駅・海老名駅・本厚木駅・秦野駅・小田原駅・大和駅・藤沢駅
(新宿駅については2005年3月8日に設置済み)
3. 設置箇所 各駅改札口付近、ただし以下の駅はカッコ内の改札口付近
成城学園前駅(中央口)、登戸駅(降車専用口)、町田駅(コンコース)、
相模大野駅(中央口)本厚木駅(中央口)、大和駅(小田急口)

以上

小田原駅改札口付近に設置したAED(自動体外式除細動器)

